

令和4年度  
(2022年度)

# 自己点検・評価報告書

令和4年(2022年)4月1日から  
令和5年(2023年)3月31日まで

令和5年(2023年)4月28日

学校法人吉田学園  
吉田学園医療歯科専門学校

## ■令和4年度 学校自己点検・評価について

〈説明〉

医療系専門学校の社会的責任を果たすため、本校の校訓や教育目標、教育実績などの実態と照らし合せ、自らの教育研究活動等の状況を自己点検、自己評価し、現状の把握・認識に努め、課題や改善を要する点などを検証し、教育の質・水準の向上、学校関係者への報告によるガバナンスの改善につなげるとともに組織的、かつ継続的な取り組みを図り、学校運営力の向上に努めていくことを目的に実施する。

### 1. 対象期間

令和4年4月1日～令和5年3月31日

### 2. 委員会開催

第1回 令和5年4月26日（学科別評価の集約結果報告および最終確認）

### 3. 実施方法

(1)実施組織:自己点検・評価委員会

○委員長: 大山 節夫 校長

委員: 吉田 克彦副校長、三上 剛人副校長補佐

(2)評価基準:文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」に準拠している。

(3)評価方法:各学科別の自己点検評価をもとに学校自己点検評価を行い自己点検・評価委員会にて評価の適正化を諮り策定を行う。

### 4. 評価項目

- (1)教育理念・目標
- (2)学校運営
- (3)教育活動
- (4)学修成果
- (5)学生支援
- (6)教育環境
- (7)学生の受け入れ募集
- (8)財務
- (9)法令等の遵守
- (10)社会貢献・地域貢献
- (11)国際交流

### 5. 評価項目に対する評価

(1)4段階で評価している。

4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

(2)それぞれの評価項目のうち評価3以下のものについての状況と課題、対策についてコメントする。

## 1 学校の教育目標

- (1) 教育目標 「自分には自信を 学校には誇りを 社会には愛を」
- (2) 校訓 「自彊 自修 自立」
- (3) スクールアイデンティティ(S・I) 「プロの中のプロ」(を育てる)  
《プロフェッショナル育成のコンセプト》
  - ① 技能の修得や資格の取得に努めさせる
  - ② 社会人としての素養を身につけ、人間性の陶冶に努めさせる
  - ③ 一流の職業人として“請われる人材”になるよう努めさせる

## 2 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

学園目標(専門学校グループ)を受け、

- (1) 入学者 医療歯科全体 「入学者数目標 310 名(定員充足 355 名)」
- (2) 離脱率 医療歯科全体 「5%以内」
- (3) 就職率 医療歯科全体 ①「就職希望者に対して 95%以上」  
②「卒業生者数に対して 90%以上」
- (4) 資格取得率 各学科 「国家試験 100%」、「他各種資格 100%」
- (5) 活動目標 (1) 教育基軸手法を用いた、各校における中心的な教育課題の検証と改善  
活動目標 (2) ICT 教育と学修管理システム(LMS)を用いた、より高い学習効果の実現  
活動目標 (3) 3 ポリシーに基づく教育課程・教育体制の検証と改善  
活動目標 (4) 多様な学生の受入環境及び学習支援環境の整備  
活動目標 (5) 業務の効率化と業務マニュアルの制定  
活動目標 (6) 学園の規模を活かした一体的取組の推進  
活動目標 (7) 社会のニーズに合わせた学校・学科構成の見直し、新たな取り組みの検証と見直し

## 3 評価項目の達成及び取組状況

### (1) 教育理念・目標

評価項目		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
(1)-1	学校の理念・目的・育成する人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
(1)-2	学校における職業教育の特色は何か	4
(1)-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
(1)-4	学校の理念・目的・育成する人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4
(1)-5	学校の教育目標、育成する人材像は、学校に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

- ① 課題
- ② 今後の改善方策
- ③ 特記事項

## (2) 学校運営

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
(2)-1 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
(2)-2 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
(2)-3 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
(2)-4 人事、給与に関する規程等は整備されているか	4
(2)-5 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
(2)-6 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
(2)-7 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
(2)-8 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

### ① 課題

### ② 今後の改善方策

### ③ 特記事項

## (3) 教育活動

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
(3)-1 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
(3)-2 教育理念、育成する人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
(3)-3 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
(3)-4 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
(3)-5 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
(3)-6 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
(3)-7 授業評価の実施・評価体制はあるか	4
(3)-8 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4

(3)-9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
(3)-10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
(3)-11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
(3)-12	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	3
(3)-13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
(3)-14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

(3)-12,13 歯科衛生学科において教員の確保はできたが、教員としての経験が浅いことから育成が課題

② 今後の改善方策

(3)-12,13 歯科衛生学科において教員研修会への参加・促進、実際に行う授業や実習の計画案についてアドバイスをを行う

③ 特記事項

(4)学修成果

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
(4)-1 就職率の向上が図られているか	3
(4)-2 資格取得率の向上が図られているか	3
(4)-3 退学率の低減が図られているか	3
(4)-4 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
(4)-5 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

① 課題

(4)-1 目標に達することが出来なかった学科が存在した。また、国家資格未取得者への就職に課題を残した。

(4)-2 目標に達することが出来なかった学科が存在した。合格率が大幅に向上した学科もあるが、更に向上を目指す。

(4)-3 様々な理由により学習継続が困難な学生も多く、進路変更による退学も増加し目標を達成できなかった学科があった。

② 今後の改善方策

- (4)-1 救急救命学科において早期から選択肢に病院を含めた就職指導を徹底する。  
国家資格の取得が就職条件の学科は、国家資格取得率を強化する取り組みをおこなう。
- (4)-2 基礎学習から国家試験対策まで継続して取り組む仕組みづくりを行う。学生の習熟を把握し ICT 活用や時期、スピード、方法を吟味し対処する。
- (4)-3 段階的な学習を考えた教育の工夫を行い、早期からの職業観の醸成を図り、モチベーションの維持に繋げる。また、複数の教員で情報共有を行い、保護者とも連携、退学・休学を未然に防ぐ

③ 特記事項

(5) 学生支援

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
(5)-1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
(5)-2 学生相談に関する体制は整備されているか	4
(5)-3 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
(5)-4 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
(5)-5 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
(5)-6 学生の生活環境への支援は行われているか	4
(5)-7 保護者と適切に連携しているか	4
(5)-8 卒業生への支援体制はあるか	4
(5)-9 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
(5)-10 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

## (6)教育環境

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
(6)-1 施設・設備・図書は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
(6)-2 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
(6)-3 防災に対する体制は整備されているか	4

### ① 課題

(6)-1 臨床工学科において業務拡大、タスクシフトシェアによる関連図書が少ない。

### ② 今後の改善方法

(6)-1 関連図書を購入し蔵書に加える。

### ③ 特記事項

## (7)学生の受入れ募集

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
(7)-1 学生募集活動は、適正に行われているか	4
(7)-2 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
(7)-3 納付金は妥当なものとなっているか	4

### ① 課題

### ② 今後の改善方策

### ③ 特記事項

## (8)財務

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
(8)-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
(8)-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
(8)-3 財務について会計監査が適正に行われている	4
(8)-4 財務情報公開の体制整備はできているか	4

- ① 課題
- ② 今後の改善方策
- ③ 特記事項

**(9) 法令等の遵守**

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
(9)-1 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
(9)-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
(9)-3 自己点検・評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
(9)-4 自己点検・評価結果を公開しているか	4

- ① 課題
- ② 今後の改善方策
- ③ 特記事項

**(10) 社会貢献・地域貢献**

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
(10)-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
(10)-2 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
(10)-3 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4

- ① 課題
- ② 今後の改善方策
- ③ 特記事項



## (11) 国際交流

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
(11)-1 留学生の受入れについて戦略を持って行っているか	—
(11)-2 留学生の受入れ、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	—
(11)-3 留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	—
(11)-4 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	—

- ① 課題
- ② 今後の改善方策
- ③ 特記事項

## 総括

昨年度の振り返りから、今年度は教育力向上に向けた新たな取組や教授法等の積極的な導入を目指し、昨年度に引き続き教育基軸に基づく教育手法や教授法の研究、AI 教材の導入など、教育力向上のために教員一丸となり研鑽してきた。

その結果、国家試験の合格率は、3学科(視能訓練・歯科衛生・歯科技工)が前年を上回り全員合格を果たした。ただ、3学科(救急救命・臨床検査・臨床工学)では全員合格には及ばなかった。そのため、2023年度においては、あらためて国家試験全員合格を第一優先目標に掲げ、学生の満足に応え得る学校・学科運営を目指したい。

また、基礎学力低下や自己学習習慣化の未定着等、根本的な課題・問題に今期も向き合い、引き続き早い段階で定期的に面談を行うほか、基礎学力の定着を図る取組や補講などの個別指導、医療等専門職としての職業意識を高める教育活動を推進して参りたい。

休・退学率に関しては、昨年を上回る休・退学者を出すことになった学科もある。経済面とメンタルに問題を抱える学生も多いが、それ以外で学科運営において休・退学を防ぎ得たケースもあるため、基礎学力の取り組みにも通じるが、学生一人一人の個を把握しながら担任任せの学生指導ではなく、学科・学校において情報共有を図りながら改善に向けて取り組みたい。

安定した教育力の維持と向上を図るためには教職員の育成が欠かせないが、世代交代と離職者増加が重なり、人材育成が課題であった。そのため、働き方改革を進め、職場内環境の改善を図っているが、引き続き継続して取り組んでいかなければならない課題である。